

さいがいの時間

五町から一市へ。そして未来へと刻まれる光のロンド





市長あいさつ

平成17年4月1日、西彼杵郡北部5町（西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町）の合併に伴い、「西海市」が誕生しました。バブル経済が崩壊した後の今の時代に、国は三位一体の改革、さらには地方分権等、諸改革案件を掲げており、地方交付税や補助金などの削減を推進しています。それに伴い、これまで国に頼ってきた自治から地方が自立するためには、どうしても合併という道を避けて通ることは到底できない時が到来していました。このような中、いかなる合併が望ましいのか、各界それぞれが暗中模索する中、最終的に一心一体となることができたのがこの西海市であります。

平成の大合併といわれる今回の合併で、多大なご尽力、そして御指導・御協力いただきました関係各位のご苦勞に対し、深く感謝の意を表するとともに、これまで以上のご理解を賜りました市民各位に心から感謝を申し上げます。

さて、ひと言に西海市と申しまして、旧5町のそれぞれの特性を生かした行政が望まれており、現在の厳しい財政事情の中、合併による住民サービスの低下を招くようなことがないよう、今後は市民の皆様とともに効率の良い施策を展開していくべきと考えます。

幸いにも当市は、海あり山あり川あり島ありと、豊かな自然環境に恵まれた風光明媚な地勢を持ち、特産品も数多く、観光資源も豊富に揃っております。この地の利を生かし、都市部との交流人口を拡大するため、グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム事業を進めると同時に人材育成を支援し、さらには雇用促進につなげ、地域の活性化を目指すこととします。

また、地域審議会をはじめ市民の皆様の意見を常に取り入れるパブリックコメント制度を推進しており、NPO法人やボランティア団体など、地域と行政が一体となった活力あるまちづくり、人にやさしいまちづくりも展開してまいります。

南蛮貿易時代に由縁する西海市は、歴史・文化を大切にしながら今まさに新しきを得るために船出しました。今後、西海市民の皆様とともに住みよい豊かな西海市を築きあげたいと決意しておりますので、皆様の一層のご理解とご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

西海市長 山下純一郎





C O N T E N T S

私たちのふるさと

西海市

02

巻頭特集

西彼北部 in江戸・明治

04

西海市誕生

06

安心の時間

安心できる豊かなふるさとづくり

10

活気の時間

時代を見据えた産業づくり

12

活力の時間

観光・交流拡大による活力づくり

14

希望の時間

郷土の明日を拓く人づくり

16

誇りの時間

誇りと連帯のあるまちづくり

18

自然の時間

自然と共栄する地域づくり

20

行政・議会

22

西海市行政機構図

24

財政

26

西海市各種データ

28

巻末特集

閉町記念式典

30

西海市主要施策

32

私 たち の ふ る さ と

西 海 市



平 島



江 島



崎 戸

崎戸総合支所
ダイヤソルト



さざんか

たくさんのお逢い、ふれあいがある。

位 置

西海市は、北緯33度線上に位置する九州本土最西部である長崎県西彼杵半島北部の西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町の旧5町が平成17年4月1日に合併し、新たに誕生した市です。特に平成11年の大島大橋開通により本土と直結された大島町・崎戸町は離島という不便性を解消後の合併です。長崎市と佐世保市のほぼ中間に位置し、両市ともに隣接しています。

地 勢

市東部は波静かな大村湾に、市西岸は五島灘・角力灘に面し、崎戸町平島・江島、大瀬戸町松島など、架橋で結ばれていない5つの有人島を有しています。

また、西海国立公園、大村湾県立公園、西彼杵半島県立公園の3つの自然公園に指定されており、周囲を美しい海岸線に囲まれるなど優れた自然景観を有しており、気候も温暖であるため、市内外から多くの釣り客や家族連れなどの観光客が訪れる風光明媚な市です。

面 積

本市の総面積は、241.94㎡で、長崎県全体の5.91%を占めています。地目別面積の構成比は、農用地が約36%、山林地は約46%、宅地約5%、原野約9%、その他約4%となっています。

西の海に、



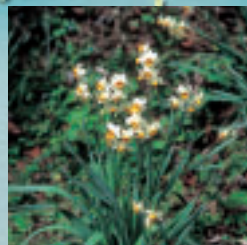
モクセイ



チューリップ



ユッカラン



すいせん



元気

!

M

E

M

O

平成17年4月1日、西海市がいよいよ誕生しました。まちのいたるところで、人と自然の生き生きとした表情を見ることができますが、実はこの元気には秘密があるのです。



タイムトラベル 西彼北部 in 江戸・明治

元気 MEMO

西彼町、西海町、大島町、
崎戸町、大瀬戸町の西海市旧5町は、まだ町と
なる以前、江戸時代の頃より同じ大村藩領とし
てより良い関係を保っていました。



およそ500年間、 西海市は一体性を持つ地域。

西彼北部5町は、江戸時代にはともに大村藩に属していたという歴史的な一体性を持っていました。

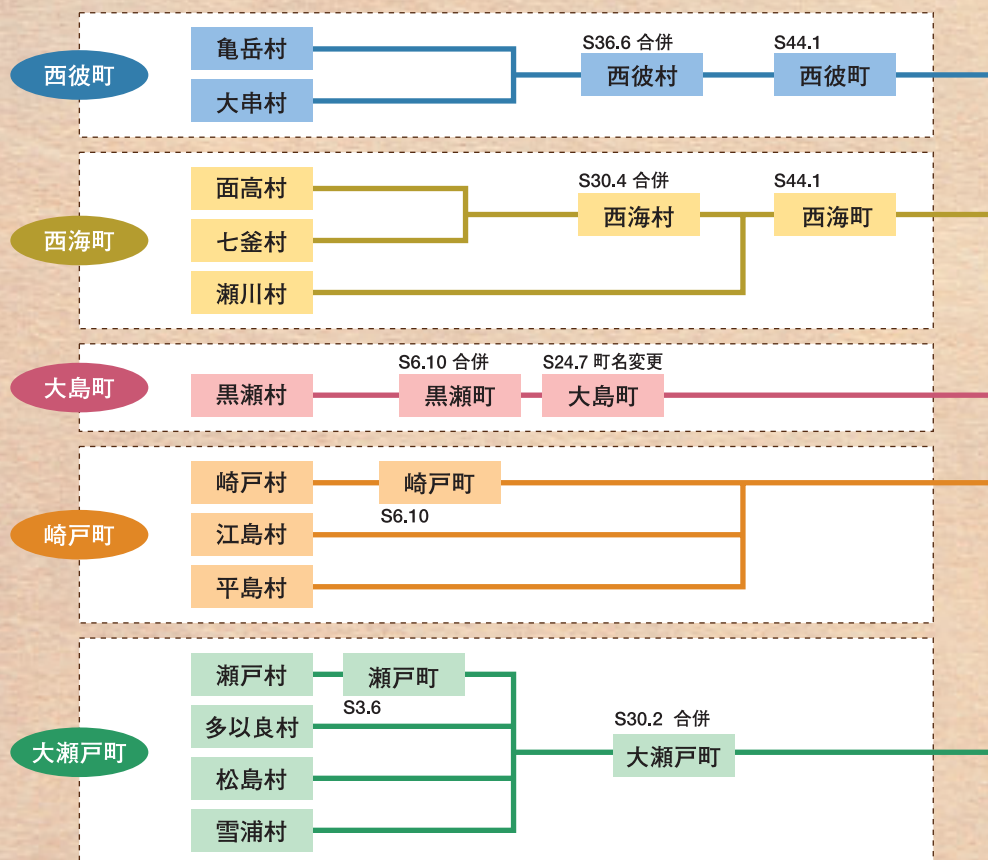
それは、大村純忠公(1533~1587)がキリシタン大名であったことから数多く残る、キリシタン関係や南蛮貿易などの文化遺産、さらには、大村藩の捕鯨基地としての役割にも表れています。

時代が下ると、松島炭鉱、大島炭鉱、崎戸炭鉱など炭鉱全盛時代をともに謳歌し、エネルギー革命では炭鉱閉山の苦難をともに乗り越えてきました。

もちろん、はじめから旧5町があったわけではなく、町村制が施行された明治22年4月時点では、亀岳村・大串村・面高村・七釜村・瀬川村・黒瀬村・崎戸村・江島村・平島村・瀬戸村・多以良村・松島村・雪浦村の13ヶ村で構成されていました。

その後、昭和の大合併を経て、西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の5町となったりと、その区域は様々に変わっていますが、大きな枠としてのまともりは、西海市となった今も昔と変わりはありません。

西彼北部地域町村の変遷





キリシタン祈りの風景

●中浦ジュリアン像

僅か14歳で日本人として最初の遣欧親善使節となった中浦ジュリアン。その後、実に八年有余にわたる長途の海外旅行を遂げ、ヨーロッパ諸国に日本を知らせ、親しませるのに大きな役割を果たしました。凛々しくのびた左手は、「ローマへの道」を指しています。



●中浦ジュリアン記念公園

「ジュリアンの生家跡」の隣には、中浦ジュリアン記念公園があります。展望台からは美しい景観、かつての使節が漕ぎ出した豊かな海を望むことができ、階下にある資料展示室ではジュリアンの生涯を描いた壁画やレプリカなどを見ることができます。



●横瀬浦公園

横瀬浦には今でも、往時を偲ばせる天主堂跡、大村館跡、南蛮船来航の地記念碑などの史跡が点在し、南蛮船来航の地としての歴史が息づいています。



●ハノ子島

横瀬浦の港口にある小島には、頂上に十字架が立っています。これは、ポルトガル船が港に入ろうとしたとき、島の頂上に十字架の光が輝いたという話をもとに架けられました。



●平原の切支丹墓碑

頭部に「ユダヤの王、ナザレのキリスト」を表すI・N・R・Iの文字が刻まれる、現存のものでは珍しいキリシタン墓碑です。

捕鯨の活気



●くじらの歴史

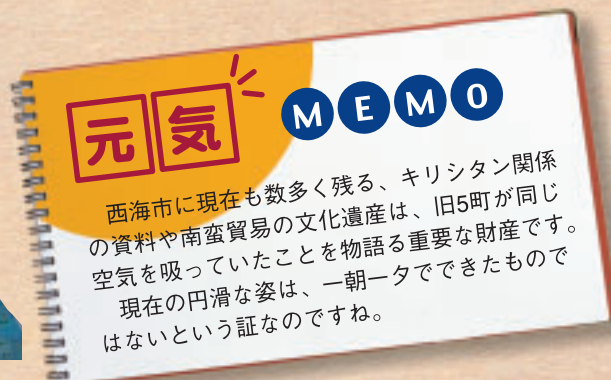
古い歴史はつまびらかではありませんが、江戸時代には鯨組の納屋場として栄え、大村藩の所領に属し、石高59石8升6合37勺であったとの記録があります。

炭鉱の情緒



●炭鉱の歴史跡

明治40年に石炭採掘が始まり、大正、昭和にかけてはこの辺り一帯、炭鉱の町として栄えました。当時の活気を今に伝える、ゆかりの遺構が数多く残っています。



平成17年4月1日

西海市誕生

希望ふくらむ生活空間、できました。

元気 MEMO

江戸時代から連携し、関わり合いの深かった旧5町ですが、西海市が、現在のように生き生きとした姿を見せるのは、もちろん「昔から仲がよかったから」というだけではありません。もう一つの西海市の元気の秘訣を見ていきましょう。

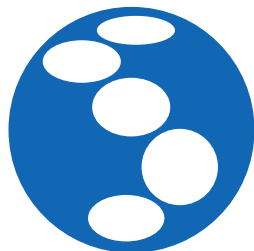


開市式

平成14年12月2日の西彼北部地域合併協議会設置から2年余り。

平成17年4月1日、いよいよ西海市が誕生しました。

幾多の苦難を乗り越えての合併だけに、開市式は団結力も強く、希望に満ちあふれる笑顔で行われました。



[市章]

西海市のイニシャル『S』をモチーフにデザイン化。

「人と自然が元気な力強い産業と交流のまち」をイメージし、未来に向かって発展する市を親しみやすくシンボライズしました。

5つの円はこのたび合併した旧5町（西彼町・西海町・大島町・崎戸町・大瀬戸町）を意味しています。



市章の決定

新しい市のシンボルとなる市章は一般公募を行いました。

全国から応募された力作揃いの596点の中から、発展的なイメージの表現と親しみやすさが決まるとなり、現在の市章が決定しました。



「西海市」名称の決定

新市の名称は一般公募を行い、西彼杵市・西海市・西そのぎ市・豊海市・にしのかなた市の5案が候補として残りました。

その中から合併協議会で協議し、西海市に決定しました。

西彼北部地域合併協議会

合併協議会における協定項目

I. 基本的協定項目

- 1-1 合併の方式に関する事
- 1-2 合併の期日に関する事
- 1-3 新市の名称に関する事
- 1-4 新市の事務所の位置に関する事
- 1-5 事務機構及び組織の取扱いに関する事
- 1-6 財産及び債務の取扱いに関する事

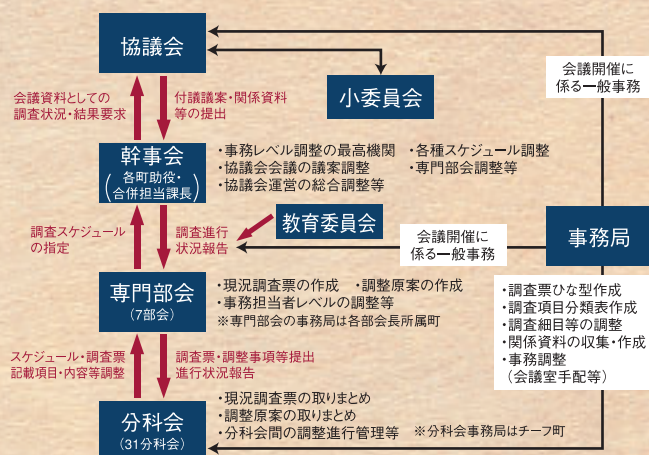
II. 合併特例法に規定されている協定項目

- 2-7 新市建設計画の作成に関する事
- 2-8 議会議員の定数及び任期に関する事
- 2-9 農業委員会委員の定数及び任期に関する事
- 2-10 地方税に関する事
- 2-11 職員の身分の取扱いに関する事
- 2-12 地域審議会の設置に関する事

III. その他必要協定項目

- 3-13 特別職の職員の身分の取扱いに関する事
- 3-14 条例・規則等の取扱いに関する事
- 3-15 使用料・手数料等の取扱いに関する事
- 3-16 公共的団体等の取扱いに関する事
- 3-17 各種団体への補助金、交付金等の取扱いに関する事
- 3-18 各町の慣行の取扱いに関する事
- 3-19 町・字の区域及び名称の取扱いに関する事
- 3-20 国民健康保険制度の取扱いに関する事
- 3-21 行政区の名称及び所管区域の取扱いに関する事
- 3-22 電算システム関係の取り扱いに関する事
- 3-23 一部事務組合等の取り扱いに関する事
- 3-24 広報、広聴関係事業の取り扱いに関する事
- 3-25 情報公開関係の取り扱いに関する事
- 3-26 消防、防災関係の取り扱いに関する事
- 3-27 人権関係の取り扱いに関する事
- 3-28 納税関係の取り扱いに関する事
- 3-29 各種福祉制度の取り扱いに関する事
- 3-30 社会福祉協議会の取り扱いに関する事
- 3-31 公営住宅関係の取り扱いに関する事
- 3-32 健康推進事業の取り扱いに関する事
- 3-33 環境衛生関係事業の取り扱いに関する事
- 3-34 生活排水処理事業の取り扱いに関する事
- 3-35 商工観光関係事業の取り扱いに関する事
- 3-36 農林水産関係事業の取り扱いに関する事
- 3-37 建設関係事業の取り扱いに関する事
- 3-38 都市計画関係事業の取り扱いに関する事
- 3-39 水道事業の取り扱いに関する事
- 3-40 学校教育関係の取り扱いに関する事
- 3-41 社会教育関係の取り扱いに関する事
- 3-42 地域間交流関係の取り扱いに関する事
- 3-43 交通関係の取り扱いに関する事
- 3-44 病院（診療所）事業の取り扱いに関する事
- 3-45 その他事務事業の取り扱いに関する事

西彼北部地域合併協議会組織相関図



西彼北部地域合併協議会委員名簿

西彼町	○村山 一正	西彼町長	三岡 武	西彼町議会合併調査研究特別委員会委員長
	馬場 正毅	西彼町議会副議長	荒木フク代	西彼町農産加工組合代表
	川口 良雄	西彼町議会副議長	朝長 隆洋	幼稚園園長
	川添 繁	西彼町区長会会長	永野 克和	西彼町議会合併特別委員会副委員長
西海町	◎山下純一郎	西海町長	北島 栄	特別養護老人ホーム所長
	池田 政治	西海町議会副議長	岩永 充三	(財)長崎県産業振興財団新技術エージェン
	中尾 崇義	西海町議会副議長、合併特別委員会委員長	榎原 智子	長崎県男女共同参画推進員
大島町	◎小山 岩男	大島町長	澤田 正	大島町自治会連合会長
	○杉本 秀伸	大島町議会副議長	松本智佐子	大島町婦人会長
	澤瀬 勝郎	大島町議会経済建設常任委員長	片江 正博	三井松島産業株式会社執行役員
	渡邊 保	大島町議会文教厚生常任委員長		
崎戸町	○尾崎 忠雄	崎戸町長	伊達 正治	協力産業南社長
	志賀 正剛	崎戸町議会副議長	福元 建	ダイヤソルト株崎戸工場長
	杉澤 泰彦	市町村合併調査研究特別委員会委員長	前原 房子	崎戸町教育委員
	松本弥代吉	市町村合併調査研究特別委員会副委員長		
大瀬戸町	濱田 博之	大瀬戸町長	柴山 栄	大瀬戸町区長会会長
	○浅本 和夫	大瀬戸町議会副議長	川口 春良	学識経験者(漁業関係)
	森山 彰文	合併対策特別委員会委員長	福田 郁代	大瀬戸町農業委員
	田川 正毅	合併対策特別委員会委員		
前委員	広域枠委員	倉富 義治 (財)長崎県国際交流協会常務理事兼事務局		
	秋山 隆雄	前・大島町長	堀見 保孝	前・西海町議会合併特別委員会副委員長
	大木 正人	前・大島町議会副議長	上野 俊昭	前・大瀬戸町区長会会長
	林 鉄郎	前・崎戸町議会副議長	古屋 弘	前・崎戸町教育委員
	佐々木義信	前・大瀬戸町議会副議長	内田正二郎	前・長崎県地方労働委員会事務局

関連

協定項目

- 1-1 合併の方式に関する事
- 1-2 合併の期日に関する事
- 1-3 新市の名称に関する事
- 2-7 新市建設計画の作成に関する事
- 3-18 各町の慣行の取扱いに関する事

元気 MEMO

そこには、たくさんの人が知恵を出し合い、より良いまちにしようとした努力があります。

人と自然が元気な力強

【西海市の将来像】

キーワード
keyword

「人が元気」「自然が元気」

■西彼北部地域のまちづくりにとって、「人」と「自然」は最大の資源であり、全ての原点。

この地域には、全国各地で都市化に伴い失われつつある温かい人情が根づき、地域で支え合う豊かな人間関係が随時に見られる。また、温暖な気候、海、山、川の自然と風土は、この地の産業を育み、都市部にはない豊かさを住む人々に与えている。住民一人ひとりが、これからも地域に「誇り」と「愛情」を持ち、活発に満ちて暮らせることは、この地域の発展の原動力である。また、自然環境を大切に守り、自然からの恵みを積極的に活用した地域づくりに取り組むことは、この地域の魅力を他の地域に発信することでもある。

「人と自然が元気な」とは、西彼北部地域の人と自然が生き生きとして、地域が一体となってまちづくりに取り組むイメージを表している。

キーワード
keyword

「産業と交流」

■地域の特色を活かした多様な産業の振興が地域経済を支え、若者を定着化させる。

西彼北部地域は、豊かな自然資源を反映した農林業や漁業、商工業など多様な産業を有しているのが特徴であり、これまでの産業振興における努力の積み重ねの結果、造船、製塩、エネルギー産業なども、地域の基幹産業として確立されている。新市においては、雇用を確保し、また、次世代が担う新産業を創出するなど、地域の生き残りをかけて産業の振興に取り組む必要がある。

■交流の要である地理的利点を最大限活用する。

西彼北部地域は、地理的に長崎市、佐世保市間の回廊の一角をかたちづくり、「ヒト、モノ、情報」交流の重要な位置を占めている。また、北緯33度線上に並ぶ上五島と平島、江島を経て本土を結ぶ海上交通は、物流拡大の新たな可能性を秘めている。この西彼北部地域を拠点とした他地域との盛んな交流促進は、この地域に経済的な発展をもたらすだけでなく、人々にこの地域の持つ重要性を認識させ、郷土への誇りを醸成する。

「力強い産業と交流のまち」とは、西彼北部地域が、「人」と「自然」の魅力を最大限に発揮しながら、「産業」と「交流」によって発展し、これからの地方分権、地域間競争の時代に対応していくという姿勢を表している。

いい産業と交流のまち

【西海市建設の基本方針】

安心できる豊かな ふるさとづくり

- ◎充実した保健と医療の地域づくり
- ◎豊かで安心できる高齢社会と平等な社会づくり
- ◎安全・快適な地域づくり
- ◎住みよい安心のしまづくり

安心

時代を見据えた 産業づくり

- ◎足腰の強い農林業の振興 ◎自立した水産業の振興
- ◎地域に根ざした商工業の振興
- ◎造船・製塩・火力発電と共に創る産業づくり
- ◎旧産炭地における産業づくり

活気

観光・交流拡大に よる活力づくり

- ◎南北基幹道路の整備と東西海路の拡充による交流促進
- ◎スポーツ・レクリエーション・イベント等を活用した交流促進
- ◎地域資源を活用した特色ある観光創出による交流促進

活力

郷土の明日を拓く 人づくり

- ◎健やかな子育てと特色ある学校づくりの推進
- ◎スポーツや文化活動を通じた人づくりの推進
- ◎地域の特性を活かした生涯学習の推進

希望

誇りと連帯のある まちづくり

- ◎交通体系網と情報ネットワーク整備による一体的な地域づくり
- ◎歴史・文化・風土を大切にしまづくり
- ◎男女共同参画社会づくり ◎参加と協働の地域づくり
- ◎健全で効率的な住民に開かれた行財政運営

誇り

自然と共栄する 地域づくり

- ◎自然環境の保全推進
- ◎環境にやさしい循環型の社会づくり

自然



安心の時間

心が大きくなる本当のやすらぎ空間。

安心できる豊かな
ふるさとづくり。

安心

活気

活力

希望

誇り

自然

生活環境



●公営住宅

昭和30年をピークに、人口の減少傾向が見られる西海市。中でも高齢者の割合が大きく、将来を見据え、若者の定住が希望されます。

そのため、若者向けの安価な住宅団地の造成や、老朽化した公営住宅の改修を行い、住環境の拡充と自然保護との両立を目指して、バランスのとれた施策を推進して参ります。



●環境衛生

ゴミ処理施設や収集方法、料金などについて整備、調整し、循環型社会の実現を目指します。



●上下水道

毎日の生活に欠かせない水ですから、協定項目の中でも重要項目として扱い、水源の確保や処理事業、料金についてなど調整を行い、円滑な運営に努めています。

防災

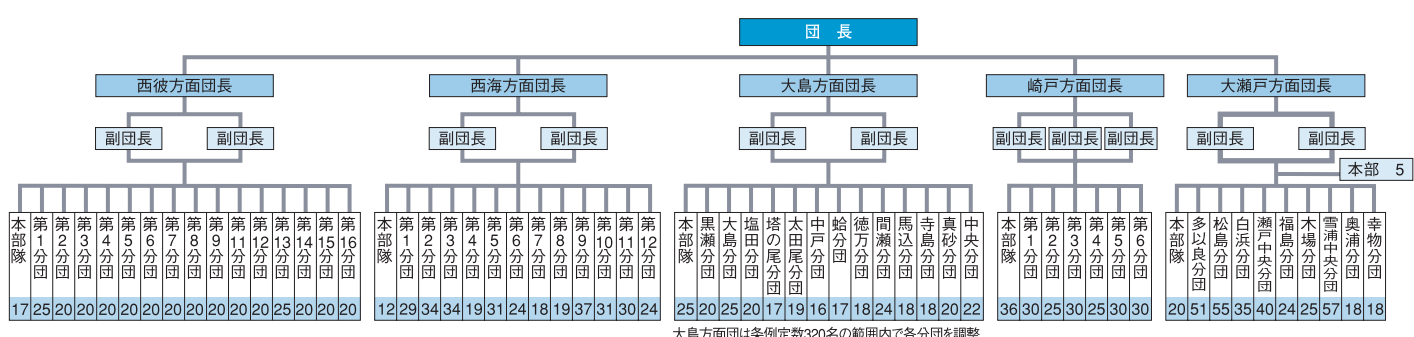


●消防団

火災や自然災害から、地域住民の生命や財産を守るべく、設備の近代化を進め、情報伝達網を整備するなど、消防・防災体制を強固なものにします。

西海市消防団組織図(条例定数)

現行(方面)	団 長	方面団長	方面副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 負	方面団計	団 計
西彼町	1	1	2	16	16	46	48	201	330	
西海町		1	2	13	13	23	47	246	345	
大島町		1	2	14	14	28	70	191	320	
崎戸町		1	3	7	7	18	46	128	210	
大瀬戸町		1	2	10	17	20	49	251	350	
	1	5	11	60	67	135	260	1,017	1,555	1,556

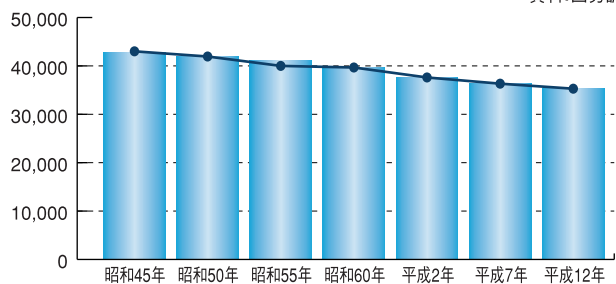


元気 MEMO

安心して、住みやすいまちをみんなが望んでいます。西海市は、新しいまちですが、みんなが胸を張って「私のふるさと」と言えるまちです。

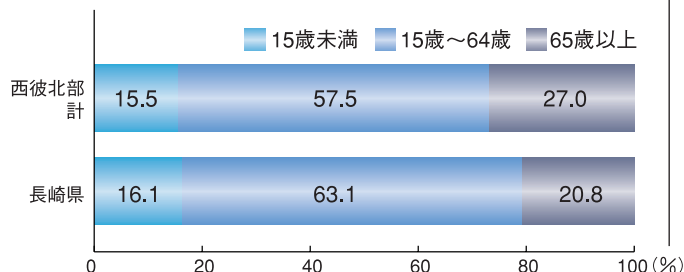
●西海市総人口の推移●

資料:国勢調査



●年齢階層別人口比率●

資料:平成12年国勢調査



健康・福祉

●福祉

西海市の現状からも、また、高齢化社会が進むといわれる今後を見渡しても、社会福祉は急務です。

西海市では、合併により各種ケアが希薄にならないよう社会福祉施設を広範囲に整備し、ホームヘルプサービスやデイサービスなどのトータルなケアを進めています。



●医療・健康

各方面の保健・福祉センターを軸とし、市全域で統一的な健康増進の実現を図っています。



タイムトラベル

西彼北部 地域合併協議会



関連 協定項目

◎主に生活環境について

- 3-15 使用料・手数料に関すること
- 3-19 町・字の区域及び名称の取扱に関すること
- 3-31 公営住宅関係の取扱に関すること
- 3-33 環境衛生関係事業の取扱に関すること
- 3-34 生活排水処理事業の取扱に関すること
- 3-39 水道事業の取扱に関すること

会議回数は、延べ4回。特に重要な内容だけに、時間をかけて話し合われました。

◎主に健康・福祉について

- 3-20 国民健康保険制度の取扱に関すること
- 3-29 各種福祉制度の取扱に関すること
- 3-30 社会福祉協議会の取扱に関すること
- 3-32 健康推進事業の取扱に関すること
- 3-44 病院(診療所)事業取扱に関すること

小項目に分けると、内容は24項目にのびります。

◎主に防災について

- 3-26 消防・防災関係の取扱に関すること

組織や配置、連携について話し合われました。

元気 MEMO

妥協をせず、何度も何度も繰り返し話し合った結果ですから、みんなが安心できる住みやすいまちになりました。

生き生きとした活動がまちの表情。

元気 MEMO

生き生きと活動する空間が随所に見られる西海市。
いわば活気の源である産業をいかに形作るかで、
まちの表情も変わってきます。

タイムラベル

西彼北部 地域合併協議会

水産業

●漁業

沿岸漁業を中心に行われており、漁業経営体数は昭和57年以降かなりのペースで減少が続けてきたものの、平成10年を境に微増に転じています。

とはいえ平成15年の経営対数は605で昭和63年当時と比較して6割の水準まで減少しており、また海面漁業漁獲量は、2,629tとなっています。



関連 協定項目

- 2-9 農業委員会委員の定数及び任期に関すること
- 3-35 商工観光関係事業の取扱いに関すること
- 3-36 農林水産関係事業の取扱いに関すること

足腰の強い農林業、自立した水産業の実現のために、補助事業を含めた話し合いが行われました。

西海市の特産品

農業関係

ゆで干し大根・アスパラガス
大島完熟トマト
デコボン・ミカン・スイカ
ビワなど



漁業関係

天然イセエビ・タコ・タチ・タイ・
イサキ・アジ・カサゴ・アラ・カキ
イカ・エソカまぼこ・ヒラメ・ブリ
アジかまぼこ・イワシかまぼこ
酢ダコ・フグの一夜干し・ウニ
いりこ・干物・ワカメ・ヒジキ
サザエなど



その他

塩・甘古呂餅・酢・真珠
江島手作り醤油・焼酎・
地ビールなど



元気 MEMO

旧5町のパワーが集結し、それを有効活用しよ
うとする熱意がある西海市の産業に期待してく
ださい。

活力の時間

観	光	・	交	流	拡	大	に
よ	る	活	力	づ	く	り	。

いい出逢い、ふれあいが未来をつくる。

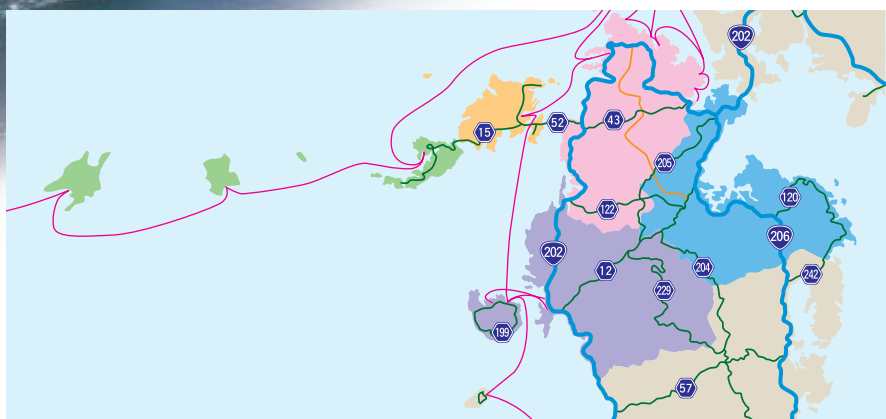
交通

陸上交通の主要道路では、本市東部(大村湾沿い)に国道206号線が、本市西部(五島灘・角力灘沿い)に国道202号線がそれぞれ南北に通っており、長崎市・佐世保市両市とをつなぐ動脈となっています。

また、西彼杵半島中央の山間部を横断するように走る県道によって市内の東西が結ばれています。

なお、平成11年11月11日に大島大橋が開通し、これまで離島だった大島・崎戸両町と本土間が結ばれています。

海上交通は、友住港(新上五島町)～佐世保港、松島港(内浦港)～瀬戸港、松島港(釜浦港)～瀬戸港、佐世保港～神浦港(長崎市海外)、佐世保港～川内港に定期航路が就航しています。



観光

平成13年の観光客数は約160万人で、県全体の約5%を占めています。平成11年の大島大橋の開通により平成12年の観光客数が急増したものの、その後長崎オランダ村の閉園(平成13年10月)などが影響し、平成12年に比して約14万人の減となりました。平成17年3月には旧長崎オランダ村の跡地に、地産地消をモットーとした食の発信基地「CAS VILLAGE」が開園、再び観光客数の増加が見込まれています。

また、北緯33度ライン上での観光ルートづくりや美しい夕日が映える西海岸を名所にしたコースづくり、家族向けの自然公園コース、また、映画「釣りバカ日誌16」で舞台となった第二西海橋や磯釣り・船釣りを対象とした釣り客の誘致、グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズムなど、多様な観光開発に着手し交流人口を拡大させ、宿泊施設の活性化に取り組むことにしています。

体験

魚釣り体験やフィッシング、ぶどう狩り、みかん狩り、農村交流など、豊かな自然を活かした体験観光が盛りだくさん。



【農村交流体験】



【みかんドームでのそば打ち体験】



【魚釣り体験】

冒険

キリシタン文化に触れたり、昔の暮らしを垣間見たり、地域特有のエピソードに出会ったり、悠久の歴史に心が旅する冒険観光です。



【小田貝塚遺跡公園】



【小千浦キリシタン殉教碑】



【大瀬戸歴史民俗資料館】



【玉依姫と玉子島】



【カトリック太田尾教会】

元気MEMO

たくさんの人やもの、情報が集まると、そこから新たなパワーが生まれます。西海市建設にあっても、パワーを生み出すためのパワーの源がありました。

交流

●国際交流

姉妹都市交流をはじめとする取り組みを発展させ、青少年の国際交流並びに、地域の活性化に役立てます。



●地域間交流

西海市への理解の深まりと、魅力を再発見する意味でも、スポーツ、レクリエーション、イベントなどを活用した交流を促進します。

中でも、スポーツ交流は盛んで、毎年7月に開催されるトライアスロンやペーロン大会はもとより、各種ロードレース、スケッチ大会など、市内のみにとどまらず、市外・県外の人も大勢参加してのさまざまなイベントが開催されています。



必見

設備の規模や、内容の種類、注目度の面でも、全国でも有数の、必見観光スポットがたくさんあります。



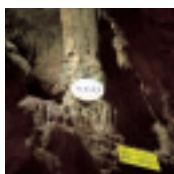
【長崎バイオパーク】



【CAS VILLAGE】



【第二西海橋】



【七ツ釜鍾乳洞】

西彼北部 地域合併協議会



関連 協定項目

◎交通について

- 3-37 建設関係事業の取扱いに関する事
- 3-43 交通関係の取扱いに関する事

立地条件をいかに活かすか。不利な点を利点に変えるような建設的な意見が飛び交いました。

◎交流について

- 3-42 地域間交流関係の取扱いに関する事

交流については、西海市だけの問題ではなく、相手の意見も必要なため、慎重な話し合いになりました。

姉妹都市

◎オーストラリア・ボウエン市

友好都市

◎中国・泰皇岛市

姉妹町

◎北海道・広尾町

※旧町時代から引き続き、交流を深めていきます。

元気MEMO

長崎市と佐世保市の中間、海に面した立地、地理的条件もたくさんの意見や知恵で、西海市の魅力になります。

希望の時間

郷土の明日を拓く
人づくり。

今日頑張れるのは、明日への光があるからです。

学校教育

少子化の進行は新市にとっても深刻な問題となっていますが、一人ひとりの個性や地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進し、学力の向上に努めるとともに、国際化・情報化に対応した教育の充実を図っています。また、教職員に対する各種研修・学校評価等を通じて信頼される学校づくりに努め、総合学習など地域との密接な関係を保ち、市民が丸となって子育てを支援していく体制を推進しています。

● 幼稚園・小中学校・高等学校数

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
県立					3
市立	3	1	18(うち分校1)	8	
私立	16	5			



【大島幼稚園】



【多良小中学校】



【西海北中学校】



【大崎高等学校 授業風景】

社会体育

みんなが気軽に参加できるスポーツ教室をはじめ、健康づくり、体力づくりに関する各種事業の充実に努めています。

これにより生涯にわたるスポーツの振興を図るとともに、各種施設の整備を推進します。



また、各地区では体育大会や、バレーボール、ソフトボール大会などを開催し、交流を深めるとともに、市民の健康維持に努めています。

今後とも西海市では、体育協会を中心に各種協会を組織し、主体的な活動を推進することで、更なるスポーツへの関心の高まりと、市民の能動的なスポーツ参加を期待します。

元気 MEMO

これまでの西海市が一朝一夕ではできなかったように、これからの西海市も一朝一夕ではできません。しかし、人々の努力がある限り西海市は明日も元気です。

西彼北部 地域合併協議会

生涯学習

暮らしに張りを持って生活できるよう、また、生きがいのある充実した毎日を過ごせるよう、各種講演会の他、婦人大学や高齢者大学、フォークダンス、ペーパーフラワー、絵画など、さまざまな教室を開催しています。

学びの場はコミュニティーセンターや公民館など、市内の公共施設が中心で、加えて各学校の体育館やグラウンドなども開放しています。

現在、生きがいに関しての多種多様なニーズがありますが、西海市では今後とも、社会教育関係の各種委員、審議会を中心として、市民の学習意欲と課題にできる限り対応し、市民の多くに望まれる生涯学習機会の提供と、それに伴った施設、設備の整備に取り組んでまいります。



関連 協定項目

◎学校教育

3-40 学校教育関係の取扱いに関すること

児童・生徒に負担をかけないよう、学区の見直しや通学時の補助制度などの見直しが行われました。

◎生涯学習

3-41 社会教育関係の取扱いに関すること

生きがいづくりの源となる項目だけに、柔軟な姿勢での対応を行うことで了承されました。



元気 MEMO

未来をもっと明るく、もっと輝くものにするために、今日、学びやすい環境、育ちやすい空間が考えられています。

誇りの時間

誇りと連帯のある

まちづくり。

好きという気持ちがプライドになります。

男女共同参画社会

安心

輝かしく力強い未来のために、また、誰もが「住んでよかった」と思えるように、女性も男性も力を出し合って、より良いまちづくりを行っていく必要があります。

西海市では、広報紙を通じてPR活動を行ったり、他団体との連携及び事業支援を行ったり、更にはセミナーを開催したりと、男女共同参画社会に対しての啓発活動を行っています。

伝統文化

活気

郷土文化・郷土芸能については、特色ある歴史を元に、多種多様な文化が残されています。

年間を通じて地域住民がそれぞれの地域で活動を行うことで各地区の伝統を守り、さらに、西海市の新たな伝統の第一歩となることを期待します。

活力

希望

誇り

自然

住民参加

例えばまちを花でいっぱいにしたり、清掃活動や交通安全運動を行ったり。自分たちが住むまちを、自分たちの手で作っていく一つの表れとして、西海市では、住民参加型社会、コミュニティ活動を推奨しています。

子どもたちからお年寄りまで、今後ともボランティアなどの地域活動の活性化に努めます。



【大瀬戸とんぼんさん】

豊漁や豊作を願う金平神社の例大祭で、100年以上の歴史を持つ「とんぼんさん」。この名称は、その昔、外国船の来航や遭難船を見張るために設けられた遠見番所にちなんで呼び名です。4月第二土曜日と日曜日に大瀬戸町榎浦地区で行われます。



【崎戸浅間神社奉納獅子舞】

炭鉱の勤労者が坑内での安全祈願に始めたと言われる「獅子舞」。獅子から頭を咬んでもらうと、無事にその年を過ごせると言われています。



【西彼うず潮太鼓】

昭和53年に誕生した「西彼うず潮太鼓」。平成2年の長崎旅博覧会を機会に8曲の新曲をつくるなど、活発な活動が続けられています。



【大島海走隊（しーらんたい）】

よさこい踊りチーム、「海走隊」。その名前の通り、大島の海を駆け抜けるくらいの勢いで乗って、楽しんで踊ります。



【西海黒潮太鼓】

東岸を激しく洗う針尾瀬戸の潮流と、北に佐世保湾、西は五島灘に臨む三方が海に面した雄々しいイメージそのままの「西海黒潮太鼓」。

元気MEMO

このまちを好きになってもらうためには、まず私たちがこのまちを好きになる必要があります。そこは、みんなの顔が見える、みんなの声が聞こえる場所です。

タイムラベル

西彼北部 地域合併協議会



開かれたまちづくり

西海市ウェブサイト
SAIHAI CITY OFFICIAL WEBSITE

トピックス
● 西海市議会第1回定例会
● 西海市議会第2回定例会
● 西海市議会第3回定例会
● 西海市議会第4回定例会
● 西海市議会第5回定例会
● 西海市議会第6回定例会
● 西海市議会第7回定例会
● 西海市議会第8回定例会
● 西海市議会第9回定例会
● 西海市議会第10回定例会
● 西海市議会第11回定例会
● 西海市議会第12回定例会
● 西海市議会第13回定例会
● 西海市議会第14回定例会
● 西海市議会第15回定例会
● 西海市議会第16回定例会
● 西海市議会第17回定例会
● 西海市議会第18回定例会
● 西海市議会第19回定例会
● 西海市議会第20回定例会
● 西海市議会第21回定例会
● 西海市議会第22回定例会
● 西海市議会第23回定例会
● 西海市議会第24回定例会
● 西海市議会第25回定例会
● 西海市議会第26回定例会
● 西海市議会第27回定例会
● 西海市議会第28回定例会
● 西海市議会第29回定例会
● 西海市議会第30回定例会
● 西海市議会第31回定例会
● 西海市議会第32回定例会
● 西海市議会第33回定例会
● 西海市議会第34回定例会
● 西海市議会第35回定例会
● 西海市議会第36回定例会
● 西海市議会第37回定例会
● 西海市議会第38回定例会
● 西海市議会第39回定例会
● 西海市議会第40回定例会
● 西海市議会第41回定例会
● 西海市議会第42回定例会
● 西海市議会第43回定例会
● 西海市議会第44回定例会
● 西海市議会第45回定例会
● 西海市議会第46回定例会
● 西海市議会第47回定例会
● 西海市議会第48回定例会
● 西海市議会第49回定例会
● 西海市議会第50回定例会
● 西海市議会第51回定例会
● 西海市議会第52回定例会
● 西海市議会第53回定例会
● 西海市議会第54回定例会
● 西海市議会第55回定例会
● 西海市議会第56回定例会
● 西海市議会第57回定例会
● 西海市議会第58回定例会
● 西海市議会第59回定例会
● 西海市議会第60回定例会
● 西海市議会第61回定例会
● 西海市議会第62回定例会
● 西海市議会第63回定例会
● 西海市議会第64回定例会
● 西海市議会第65回定例会
● 西海市議会第66回定例会
● 西海市議会第67回定例会
● 西海市議会第68回定例会
● 西海市議会第69回定例会
● 西海市議会第70回定例会
● 西海市議会第71回定例会
● 西海市議会第72回定例会
● 西海市議会第73回定例会
● 西海市議会第74回定例会
● 西海市議会第75回定例会
● 西海市議会第76回定例会
● 西海市議会第77回定例会
● 西海市議会第78回定例会
● 西海市議会第79回定例会
● 西海市議会第80回定例会
● 西海市議会第81回定例会
● 西海市議会第82回定例会
● 西海市議会第83回定例会
● 西海市議会第84回定例会
● 西海市議会第85回定例会
● 西海市議会第86回定例会
● 西海市議会第87回定例会
● 西海市議会第88回定例会
● 西海市議会第89回定例会
● 西海市議会第90回定例会
● 西海市議会第91回定例会
● 西海市議会第92回定例会
● 西海市議会第93回定例会
● 西海市議会第94回定例会
● 西海市議会第95回定例会
● 西海市議会第96回定例会
● 西海市議会第97回定例会
● 西海市議会第98回定例会
● 西海市議会第99回定例会
● 西海市議会第100回定例会



関連 協定項目

- 3-16 公共的団体等の取扱いに関する事
- 3-17 各種団体への補助金、交付金等の取扱いに関する事
- 3-24 広報、広聴関係事業の取扱いに関する事
- 3-25 情報公開関係の取扱いに関する事
- 3-27 人権関係の取扱いに関する事

これまでの生活や活動に、あまり変化がおきないように配慮しながらも、新しい生活や活動に期待が持てるような話し合いが行われました。

西海市イベント

季節	イベント名	地区
春	●中学校総合体育大会	市内
夏	●ペーロン大会 ●トライアスロン大会 ●花火大会 ●伊勢海老祭り	大瀬戸 大島 各地区 崎戸
秋	●西海市民・西彼杵郡民体育大会 ●七釜ロードレース ●ふるさとまつり ●地区運動会 ●スケッチ大会 ●敬老会	市内 西海 市内1ヶ所 各地区 崎戸 市内各所
冬	●成人式	大島・西彼

※この他にも多くのイベントが計画されています。

毎月1回の広報紙発行、議会の傍聴など、広報・広聴関係事業は、合併前の旧5町時より引き続き行い、市の現状や今後の取り組みについて広く公開するほか、市のホームページで随時できごとやお知らせなどを発信しています。

また、地域に密着した情報が提供できるよう、本庁と総合支所間の連携を密にし、市民生活に不可欠な情報の提供に努めます。



元気MEMO

みんなでまちをつくっていく、という意識がやりがいにつながり、やりがいがあるから頑張れるのです。



自然の時間

自	然	と	共	栄	す	る	
地	域	づ	く	り	。		

どこまでも続く空と海に、心を深呼吸。

自然環境

安心

活気

活力

希望

誇り

自然



【つがね落としの滝】大瀬戸町

水が滝壺ではなく岩盤に滑るように落ちる滝は、つがね（モクスガニ）が水の流れとともに落ちる様からその名が付けられました。長崎百選にも選ばれています。



【ウォーターデッキからの夕日】崎戸町

真っ青な空と海の元気いっぱいの風景も、時間が経つにつれて、赤く染まり、金色に輝く情緒豊かな風景に様変わり。自然のさまざまな表情が西海市の魅力です。

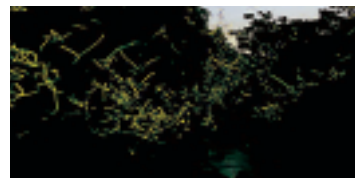


【伊佐ノ浦公園】西海市

整備されたサイクリングロードで風を切ったり、遊歩道で自然散策したり、40mもある吊り橋に驚いたり。コテージも整い、ボートやバスフィッシングも楽しめる総合的な憩いの場です。

かけがえない豊かな自然環境を守り、残すことは、未来に対しての私たちの義務でもあります。

そのため、森林環境保全整備事業、海岸環境整備事業、河川環境整備事業、環境教育の推進などを通じ、生態系の保護、景観などにも十分配慮した整備を行い、豊かな自然を実感できる自然公園整備を促進します。



【ホタルのいる風景】

清らかな水のある場所に棲むホタル。最近では見られる場所も減ってきていますが、西海市では、夏になるといたるところで見ることができ、ほのかな光が人々の心を温かく灯してくれます。



【八人ヶ岳公園】西彼町

大村湾全体が眺望できる大パノラマは、空と海、木々と街並みのコントラストが美しい、雄大な景観です。



【稚魚の放流】

人に住みやすく、他の動植物にも心地いい環境の実現を目指して、稚魚の放流を行っています。



【柳の浜海水浴場】大瀬戸町

澄みきった青い海と正面には大島大橋。白い砂浜が映える遠浅の海水浴場は家族連れに人気があります。



【大釜海水浴場】大島町

もともと人がどうにか通れるだけの砂浜を整備。夏の足音と共に県内外から多くの海水浴客が訪れます。



タイムトラベル

西彼北部 地域合併協議会



関連 協定項目

3-33 環境衛生関係事業の取扱いに関する事

3-38 都市計画関係事業の取扱いに関する事

環境衛生に関しては内容も細かく、12項目に渡って検討されました。

循環型社会

環境への負荷軽減のため、市内全域において、下水処理施設や畜産糞尿処理施設の整備などを促進する他、太陽光発電、風力発電などの新エネルギー供給に関する基本計画の策定や、リサイクル推進事業にも取り組んでいます。



ごみの量を減らすため、市内各所で分別を行っています。



業者に委託し、ごみの種類ごとに分別収集します。



資源ごみ(金属)をプレスした状態。新たな金属として生まれ変わります。



さらにここで選別され、県外の再生工場へ搬送されます。



地域別整備方針

それぞれが魅力ある特徴や資源、可能性を有している西彼北部地域。これら恵まれた資源を有効活用し、西海市全体としての活力を高めていくために、地域特性に応じた整備を進めていきます。

緑の回廊

国道206号線で長崎市と、202号線で西海橋を挟んで佐世保市と隣接しているという縦のライン。域内には歴史的遺産や観光施設、豊かな自然があります。

2大消費地間にあるという立地性をふまえ、豊かな自然を活かして一体的な観光ルートの構築を行います。

北緯33度ライン

大島大橋の完成により、北緯33度線上に並ぶ、上五島、平島、江島を経て本土を結ぶ最短海上交通路の開発が可能となりました。

この実現により、観光と物流の新たな広がりが期待できます。西海市では、この交通軸を実現することで地域の発展を目指します。



安心

活気

活力

希望

誇り

自然

行政



市長 やました じゅんいちろう
山下 純一郎



助役 ふじわら けいいち
藤原 敬一



収入役 いわさき もとあき
岩崎 源生



教育長 さこ ほうしょう
佐古 寶松



本庁舎(大瀬戸総合支所)



西彼総合支所



西海総合支所



大島総合支所



崎戸総合支所

本庁をはじめ5つの総合支所を有する西海市。合併によって広大な面積になりましたが、全市民へのサービス低下とならないよう、総合支所方式をとりました。

また、情報化社会の中でIT時代に乗った行政運営を行うため、全ての部署・機関に情報電算網を整え、地域の特色を網羅した多種多様な施策の展開が図れるようになっています。

さらに、住民と行政が一体となり、基本理念である「人と自然が元気な力強い産業と交流のまち」の実現と生活の「ゆとり」「豊かさ」を目指すため、各地区に地域審議会を設けています。

市長選挙

西海市発足後初めての市長を決める選挙が5月1日、市内48箇所で行われた。
(崎戸江島・平島地区は4月30日に繰り上げ投票を実施)

◎当日有権者数 27,653人

◎投票者数 24,762人

◎投票率 89.55%

議 会



議長 さ さ き よしのぶ
佐々木 義信



副議長 さ か た としお
佐嘉田 敏雄



西海市の英知が結集する西海市議会。地方分権の進展に伴い、自治体の自己責任能力が一層強く求められる時代に、議会の役割である議決権やチェック機関として、また、限られた財源を効率的に運用し、市民の満足度をいかに向上させるかなど、大変重要な役割を担っています。

さらに、旧町の特徴を活かし、地域の均衡ある発展、教育と住民福祉の向上を図るなど、市民の負託に応えるため、議員一人ひとりが日々東奔西走しています。

市議会議員選挙

市長選挙と同日の5月1日、市議会議員選挙の投票が行われた。議員定数は26人。
うち、第1選挙区(旧西彼町・旧西海町・旧大瀬戸町)20人。 第2選挙区(旧大島町・旧崎戸町)6人。

◎当日有権者数 27,653人

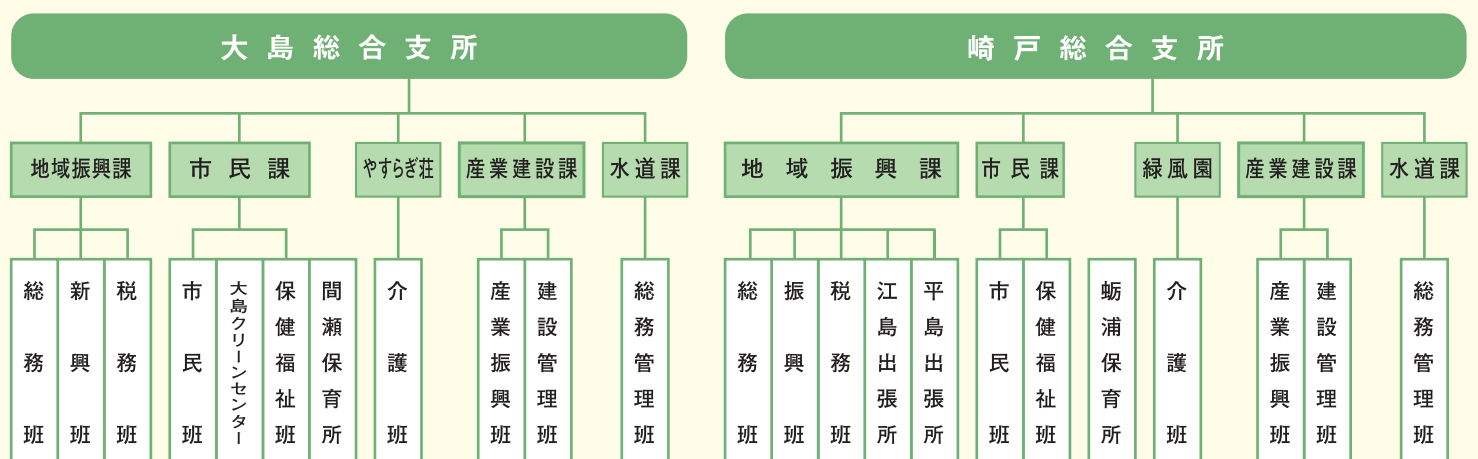
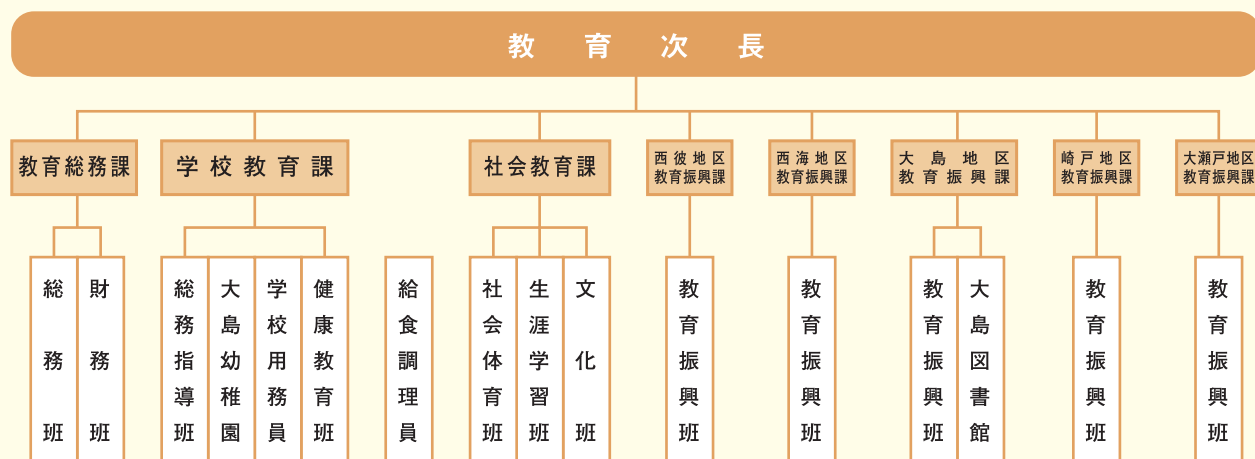
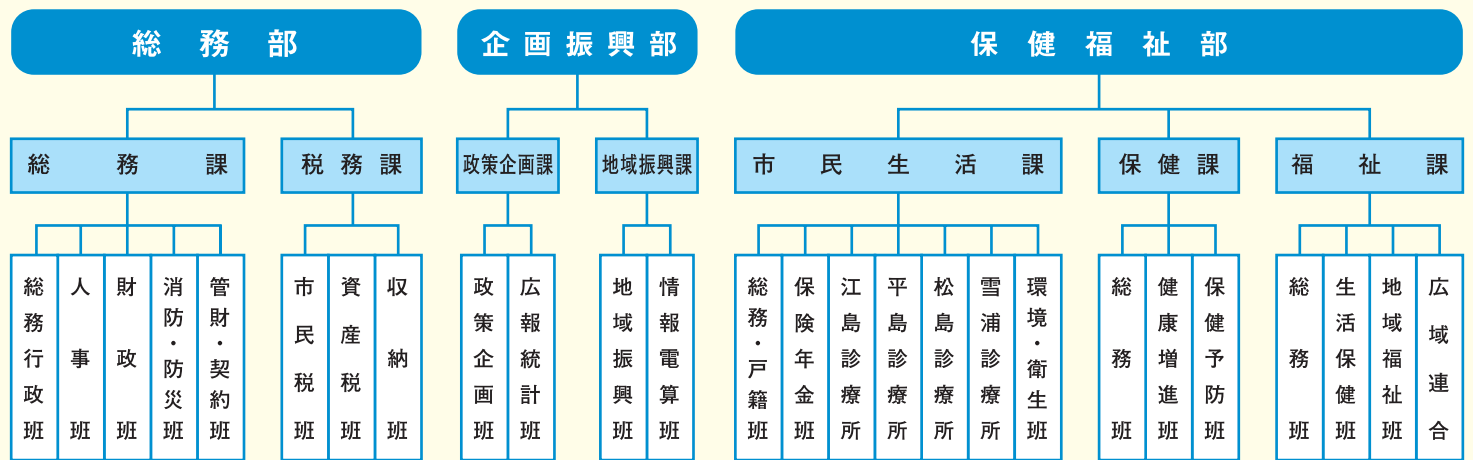
◎投票者数 24,762人

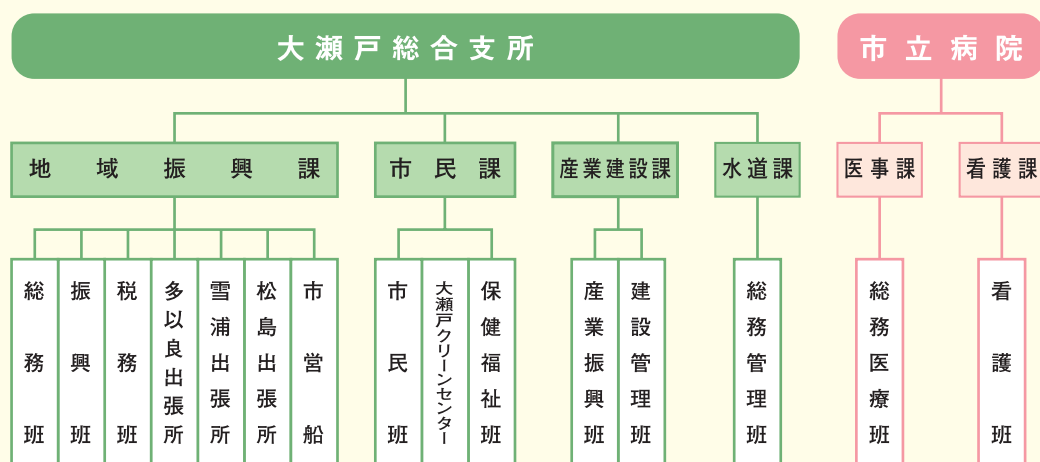
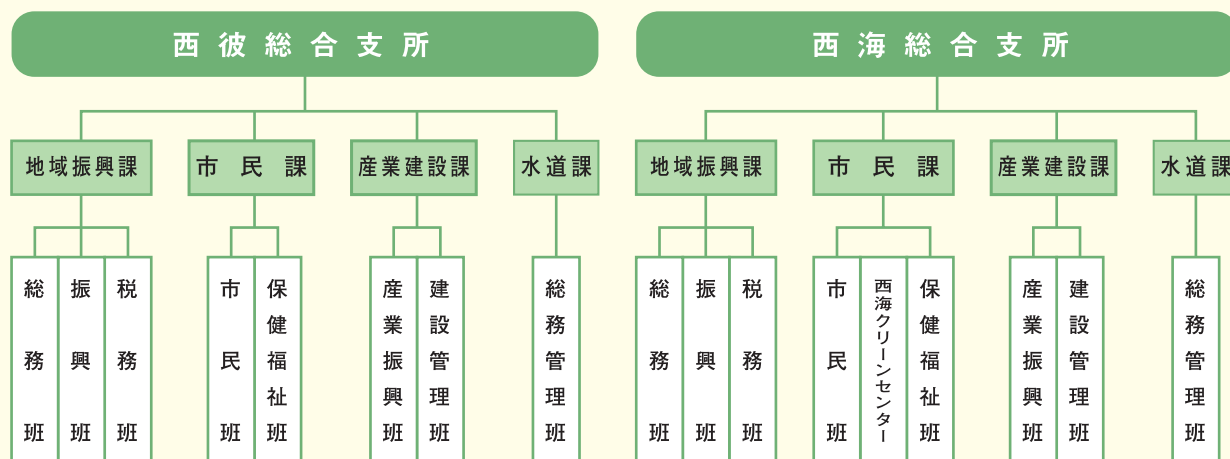
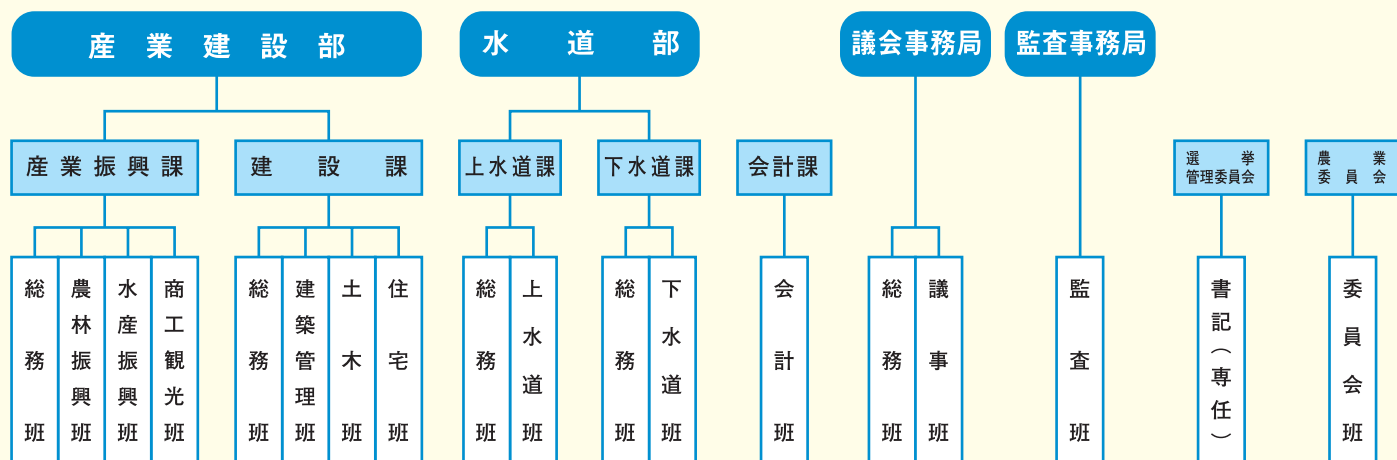
◎投票率 89.55%

西海市議会議員名簿 (平成17年5月9日現在)		
佐々木 義信	田中 隆一	浅田 直幸
佐嘉田 敏雄	中里 悟	志賀 正剛
池田 政治	山崎 善仁	岸浦 秀次
馬場 正毅	井田 利定	原口 龍彦
岩本 利雄	渋谷 一文	浅本 和夫
北川 辰夫	杉本 秀伸	川岡 純英
中野 良雄	森口 昭徳	田川 正毅
田口 昇	永田 良一	堀川 政徳
浅田 幸夫	杉澤 泰彦	

各委員会
総務常任委員会(9名)
産業建設常任委員会(9名)
文教厚生常任委員会(8名)
議会運営委員会(9名)
議会広報特別委員会(10名)
LCAC等防衛施設に関する調査特別委員会(8名)

西海市行政機構図





財 政

予算編成

平成17年度の予算編成に当たっては、合併協議会にて策定された新市財政計画をもとに編成されました。

この財政計画は、合併後の平成17年度から平成26年度までの10年間について、歳入・歳出の各項目ごとに過去の実績を基礎として、今後の経済動向、人口推移等を勘案し、合併に係る財政上の特例措置等を見込み、普通会計ベースで策定しています。（新市建設計画に掲載）

また、合併後の新しいまちづくりを実現するための新たな事業に対応しつつも、地方交付税の大幅な削減の影響の中、健全な財政運営を維持していくため、人件費及び事務的経費の削減に努め、計画期間終了後も^{*}起債制限比率が抑制されるよう地方債の借入額を設定しています。

財政運営においては、主要施策や主な事業について、重要性や緊急性等を勘案し、効率的かつ効果的な実施を図るとともに、引き続き行政経費の適正な執行に努めていきます。

※起債制限比率→地方債の元利償還金が財政を圧迫することのないように定められた指標。

$$\frac{\text{分子}=\text{元利償還金に充当した一般財源}-\text{地方交付税に算入された金額}}{\text{分母}=(\text{地方税}+\text{地方交付税}+\text{譲与税等})-\text{地方交付税に算入された金額}} \times 100$$

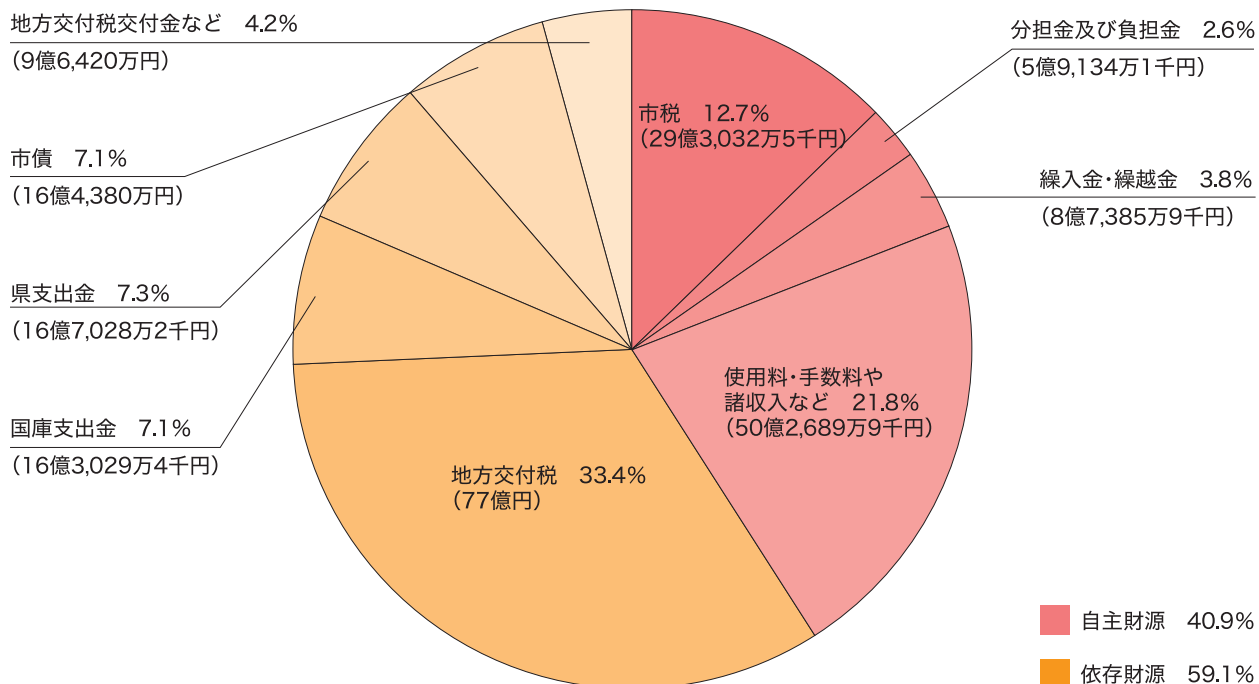
この指標の3年間の平均が20%以上の団体は一部地方債の発行が制限される。

■一般会計・特別会計・企業会計の予算額

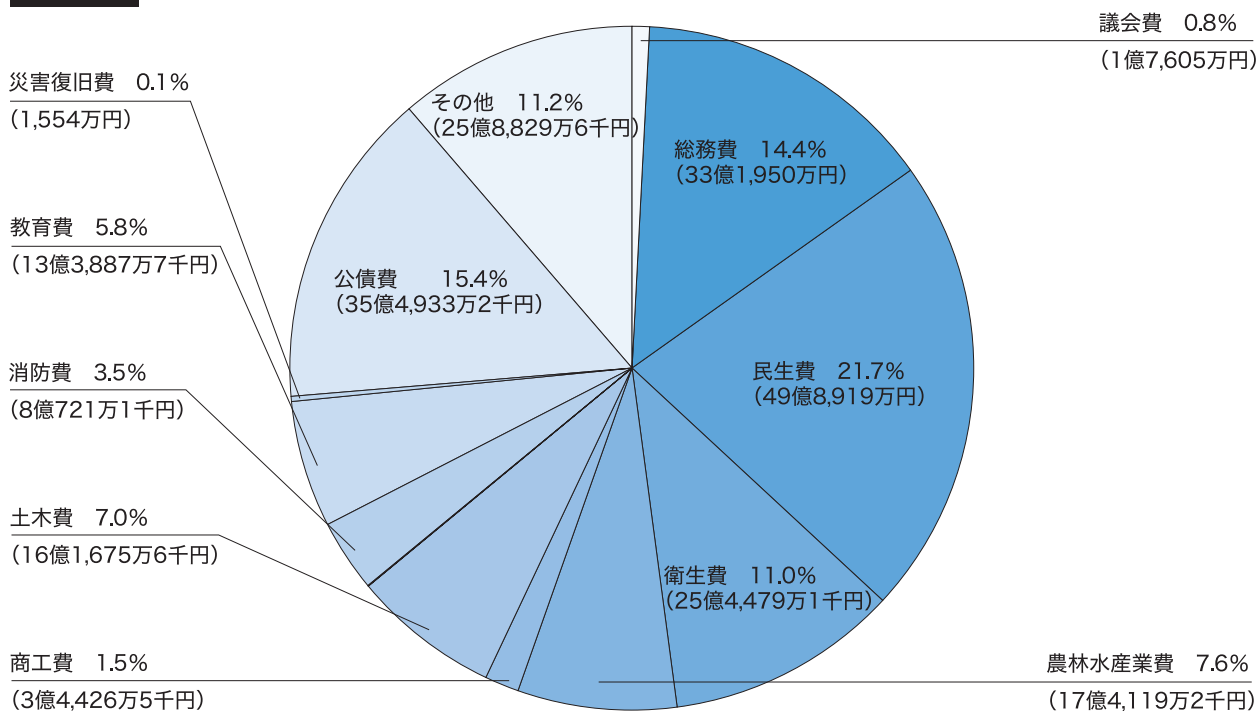
(単位:千円)

会 計 名	予 算 額
一般会計	
○市税	2,930,325
○分担金及び負担金	591,341
○繰入金・繰越金	873,859
○使用料・手数料や諸収入など	5,026,899
○地方交付税	7,700,000
○国庫支出金	1,630,294
○県支出金	1,670,282
○市債	1,643,800
○地方交付税交付金など	964,200
国民健康保険特別会計	4,222,451
簡易水道事業特別会計	1,113,090
老人保健特別会計	5,639,538
下水道事業特別会計	2,722,475
宅地開発事業特別会計	11,507
交通船特別会計	91,334
特別養護老人ホーム大崎やすらぎ荘特別会計	220,613
水道事業会計	
○収益的支出	220,429
○資本的支出	186,673
工業用水道事業会計	
○収益的支出	79,500
○資本的支出	32,643
西海市立病院事業会計	
○収益的支出	732,452
○資本的支出	14,473
予算額合計	38,318,178

歳入 平成17年度 一般会計歳入予算総額 230億3,100万円



歳出 平成17年度 一般会計歳出予算総額 230億3,100万円



西海市勢各種データ

旧町名	人 口 動 態									
	自然動態(平14年)				社会動態(平15年)		住民基本台帳(平17.6.1)			
	出 生	死 亡	婚 姻	離 婚	転 入	転 出	人 口	世 帯 数	男	女
	人	人	人	人	人	人	人	世帯	人	人
西彼町	76	98	46	18	286	349	9,771	2,993	4,723	5,048
西海町	76	97	35	15	242	307	9,087	2,848	4,312	4,775
大島町	42	70	34	18	274	289	5,805	2,666	2,823	2,982
崎戸町	8	43	5	4	78	112	2,175	1,124	985	1,190
大瀬戸町	65	105	24	14	323	440	7,706	2,968	3,754	3,952
西海市全体	267	413	144	69	1,203	1,497	34,544	12,599	16,597	17,947

旧町名	産 業 別 事 業 所 (平13.10.1)									
	総 数		農 林 漁 業		鉱 業		建 設 業		製 造 業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
	事業所	人	事業所	人	事業所	人	事業所	人	事業所	人
西彼町	394	3,369	7	154	—	—	65	403	17	244
西海町	350	2,381	16	200	2	26	46	382	18	261
大島町	295	2,853	2	12	—	—	30	413	25	1,072
崎戸町	175	839	—	—	—	—	17	38	7	115
大瀬戸町	401	3,085	3	44	1	14	50	724	22	205
西海市全体	1,615	12,527	28	410	3	40	208	1,960	89	1,897

旧町名	産 業 別 事 業 所 (平13.10.1)									
	電気・ガス・熱供給・水道業		運 輸 ・ 通 信 業		卸売・小売業・飲食店		金 融 ・ 保 健 業		不 動 産 業	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
	事業所	人	事業所	人	事業所	人	事業所	人	事業所	人
西彼町	1	10	11	122	157	703	5	53	5	8
西海町	2	8	18	182	120	482	1	6	1	1
大島町	2	6	13	102	129	510	4	20	2	2
崎戸町	1	6	12	71	60	130	1	5	—	—
大瀬戸町	3	138	18	203	153	628	6	69	—	—
西海市全体	9	168	72	680	619	2,453	17	153	8	11

旧町名	産 業 別 事 業 所 (平13.10.1)			
	サ ー ビ ス 業		公 務 (他に分類されないもの)	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
	事業所	人	事業所	人
西彼町	117	1,524	9	148
西海町	118	750	8	83
大島町	84	627	4	89
崎戸町	70	411	7	63
大瀬戸町	130	888	15	172
西海市全体	519	4,200	43	555

旧町名	農 家 数		農 家 人 口		耕 地 面 積		
	平12.2.1	うち専業	平12.2.1	農業就業人口	平15.7.15	うち田	うち畑
	戸	戸	人	人	ha	ha	ha
西彼町	766	107	3,780	1,166	991	376	615
西海町	920	185	4,033	1,424	1,110	300	813
大島町	69	7	217	41	52	2	50
崎戸町	33	1	82	4	13	3	10
大瀬戸町	415	69	1,623	408	388	151	237
西海市全体	2,203	369	9,735	3,043	2,554	832	1,725

旧町名	主 要 農 作 物 収 穫 量 (平15年)						
	水 陸 稲	小 麦	裸 麦	かんしょ	ばれいしょ	み かん	び わ
	t	t	t	t	t	t	t
西彼町	971	—	—	78	336	5,570	5
西海町	881	—	—	752	1,020	8,030	46
大島町	1	—	—	59	36	1	59
崎戸町	1	—	—	53	5	1	—
大瀬戸町	358	—	1	255	115	1,360	129
西海市全体	2,212	—	1	1,197	1,512	14,962	239

旧町名	主要家畜家さん頭羽数(平16.4.1)				農業算出額(平14年)	海面漁業漁獲量 (平15)	漁業経営体数 (平15)
	乳牛用	肉牛用	豚	にわとり(卵用・肉用)			
	頭	頭	頭	羽	千万円	t	経営体
西彼町	—	2,383	3,147	53,700	278	144	147
西海町	215	3,527	53,273	197,920	587	1,574	88
大島町	23	—	—	—	15	76	63
崎戸町	—	—	—	—	1	169	159
大瀬戸町	76	2,428	873	—	119	666	148
西海市全体	314	8,338	57,293	251,620	1,000	2,629	605

旧町名	漁船数(平15.12.31)			製造業事業者数 (4人以上/平15.12.31)	製造業従業者数 (4人以上/平15.12.31)	製造品出荷額等 (4人以上/平15.12.31)
	総数	無動力船	動力船			
	隻	隻	隻	事業所	人	百万円
西彼町	457	—	457	14	178	1,589
西海町	418	8	410	6	223	1,191
大島町	274	3	271	14	1,170	70,870
崎戸町	268	1	267	4	110	4,132
大瀬戸町	415	—	415	12	153	1,518
西海市全体	1,832	12	1,820	50	1,834	79,300

旧町名	水道普及率 (平15.3.31)	道路実延長(平16.4.1)	
		総 数	うち市町村道
	%	km	km
西彼町	96.8	297	244
西海町	98.4	399	355
大島町	100.0	72	62
崎戸町	100.0	92	86
大瀬戸町	96.3	234	188
西海市全体	98.3	1,094	935

旧町名	生活保護(平成15年度月平均)		医療施設(平14.10.1)			医療従事者数(平14.12.31)		
	被保護世帯	被保護人員	病院	一般診療	歯科診療	医師	歯科医師	薬剤師
	世帯	人	院	所	所	人	人	人
西彼町	94	130	2	5	4	13	4	9
西海町	41	59	—	6	2	7	2	—
大島町	53	69	1	2	2	3	4	5
崎戸町	54	82	—	4	1	3	1	2
大瀬戸町	45	56	—	9	3	9	4	2
西海市全体	287	396	3	26	12	35	15	18

旧町名	保 育 所	幼稚園(平16.5.1)				小学校(平16.5.1)			中学校(平16.5.1)		
	園 数	園 数	教 員 数	園 児 数	学 校 数	教 員 数	児 童 数	学 校 数	教 員 数	生 徒 数	
	園	園	人	人	校	人	人	校	人	人	
西彼町	4	2	9	96	4	47	643	1	23	355	
西海町	6	1	2	14	4	49	602	2	31	311	
大島町	3	1	3	38	2	25	286	1	16	170	
崎戸町	1	1	4	13	3	21	104	3	24	45	
大瀬戸町	5	1	4	39	5	46	433	1	17	225	
西海市全体	19	6	22	200	18	188	2,068	8	111	1,106	

旧町名	災害発生件数 (平15年)	消防団の概要(平14.4.1)			消防水利(平16.4.1)	
		消防団員数	消防ポンプ自動車台数	動力ポンプ台数	消 火 栓	防 火 水 槽
	件	人	台	台	所	所
西彼町	2	325	—	40	80	107
西海町	2	345	2	25	20	185
大島町	5	276	4	14	137	59
崎戸町	1	178	—	—	3	28
大瀬戸町	3	337	—	23	36	63
西海市全体	13	1,461	6	102	276	442
常 備 消 防 含 ま ず						



タイムトラベル

閉町記念式典

4月1日の西海市誕生にあたり
3月に各町の閉町記念式典が執り行われました。
思い出多い「町」との別れを
各町特色ある催しで名残惜しみ、
また、西海市へ向けメッセージが高々と発表され、
新市への希望が託されました。

元気 MEMO

西彼町、西海町、大島町、崎戸町、大瀬戸町の
旧5町の皆さん。今までありがとうございました。
そしてこれからも、よろしくお願いします。

●西彼町閉町記念式典



3月20日、西彼町総合体育館で44年の歴史に幕を降ろす西彼町閉町記念式典・記念イベントが開催されました。

町民約300名が出席した記念式典では、村山町長が「先達の努力と住民参加の町づくりが進められ、素晴らしい町となりました。残された諸問題はしっかりと西海市に引き継ぎます」と式辞を述べた後、町内の小・中・高校生の代表が町の思い出や西海市への期待のメッセージを発表しました。

その後、中学生2名により町旗が降納、最後に蛍の光を全員で合唱し、西彼町の思い出を深めました。

また、記念式典後は記念イベントが行われ、郷土芸能や各グループによる合唱、踊りが披露され寂しさを感じながらも西海市への期待をふくらませ、西彼町最後のイベントを楽しみました。

●西海町閉町記念式典



西海町閉町記念式典が、3月13日総合福祉センターで行われました。

約250人が出席した式典では、山下町長が「この合併が皆さまの融和と信頼のもと、より良いものとなりますことを切に願ってやみません。西海町の輝かしい歴史がいつまでも後世に引き継がれますよう祈念いたします」と式辞を述べました。

続いて、功労者表彰、町の歴史が綴られたスライド上映、中学生によるメッセージ、ステージに掲げられた町旗の降納が行われ、36年続いた西海町の幕を閉じました。

●大島町閉町記念式典



3月13日、大島町民文化ホールで大島町閉町記念式典が執り行われました。

約330名が出席した式典では、小山町長が「町制施行から56年間に亘ってあらゆるご支援とご鞭撻をいただきました多くの方々に心からの感謝を捧げます」とあいさつ。

続いて13団体と47名の方々に表彰状及び感謝状が贈られた後、大島町の思い出や新市「西海市」によせるメッセージを小・中学生の代表が述べられたほか、大島町の閉町を記念して作成したビデオの放映が行われました。

最後に町旗が大島中学校の生徒により静かに降納され、町制施行56年の歴史に幕を降ろしました。

●崎戸町閉町記念式典



町制施行以来、74年間続いた町を閉じる「崎戸町閉町記念式典」が3月12日に中央公民館で行われました。

式典では、尾崎町長が「5町の速やかな一体化を促進し、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図り、町民の皆さまが合併してよかったと思える市政の実現に期待する」と式辞を述べました。

その後、町制に多大なる貢献をされた方々の表彰、町の変遷を綴ったビデオ放映や地元の小・中・高校生によるメッセージ発表、役場職員による勇壮な獅子舞が披露されました。

最後の町旗降納では、崎戸中学校の生徒の手により崎戸・江島・平島の3本の矢がしっかりスクラムを組んだ見慣れた町旗がゆっくりと降りていくと、参列者の方々は、昔を懐かしむような表情で最後を見守っていました。

●大瀬戸町閉町記念式典



3月13日、大瀬戸コミュニティセンターで大瀬戸町閉町式が行われました。

約200名が出席した式では、濱田町長が「私たちは青い空、緑の山々、紺碧の海に囲まれたこの自然豊かな大瀬戸町に生まれ育ったことを誇りに、新しい歴史の証人として、積極的に新市づくりに参画すると共に、本町の特性を活かした町づくりをさらに継承し、明日を担う子ども達が夢を持てる西海市づくりへとさらに発展させていかなければならない」と閉町にあたっての思いを述べました。

その後、町の風物・歴史などをまとめたビデオの上映や功労者の表彰、中学生のメッセージ発表が行われ、最後に中学生の手によりステージ上の町旗が降ろされ、半世紀にわたる大瀬戸町政の幕が閉じられました。

(1) 既存計画・施策の継続

5町において既に実施されている事業については、新市においても原則として継続し、旧町単位の地域づくりに配慮する。
また、5町の総合計画についても、出来る限り尊重する。

(2) プロジェクトによる施策の具体化

主要施策を具体化するための手段として、次のプロジェクトを展開する。

①保健・医療・福祉の包括システム構築プロジェクト

地域で安心して生活できるように保健、医療、福祉サービスの充実を図り、必要なサービスが一体的に提供できる体制づくりを推進するプロジェクト。

②「元気で長生きがい日本一」プラン構築プロジェクト

国が国民的運動として推進している「健康日本21計画」に基づき、市民一人ひとりが健康増進や疾病予防を実現するための指針として「元気で長寿、生きがい日本一」(仮称)プランを市民参加により構築するプロジェクト。

③障害者の自己実現の促進プロジェクト

誰もが住み慣れた地域社会で、安心して生活できるようノーマライゼーションの実現を図り、障害者が自己実現できる地域づくりを推進するプロジェクト。

④資源循環型農業システム構築プロジェクト

消費者ニーズに応える「安全、安心、良質」な農畜産物を生産し供給する持続性の高い農業を実践し、環境と調和した環境にやさしい資源循環型の農業生産を推進するプロジェクト。

⑤地域農業総合生産団地構想プロジェクト

みかん産地の再生、ビワなど新果樹産地の育成、施設化農業の一層の高度化、露地野菜団地、遊休農地活用、土地利用型農業の構築などに取り組むプロジェクト。

⑥大規模海洋構想プロジェクト

人工海洋林構想による海洋牧場の造成、海洋土木技術による湧昇流堤の研究開発などを行う海洋構想の研究に取り組むプロジェクト。

⑦資源管理型漁業システム構築プロジェクト

大村湾水質浄化などの環境保全対策、持続性の高い漁業の確立のための漁場造成、種苗の増殖・放流など資源管理型漁業を推進するプロジェクト。

⑧多機能・複合型地域再生プラン構築プロジェクト

長崎オランダ村跡地活用、大串十字路地区再開発策などによるハイテク農業、保健、医療、福祉など多機能・複合型地域再生プランの構築に取り組むプロジェクト。

⑨旧産炭地域活性化プロジェクト

炭坑関連会社の協力などによる炭坑跡地、遊休地の有効活用に関するプロジェクト(エネルギー、食料、飼料等の輸入、輸送の大規模基地化等)。

⑩高度集積テクノランド(新産業基地)構想プロジェクト

造船、製塩、火力発電などの技術力を活かした新産業(IC、ナノテク、バイオテク、エネルギー等)の集積を進めるプロジェクト。

⑪総合的な子育て支援プロジェクト

特殊出生率の向上を図るため、福祉や教育だけでなく産業経済、労働、都市基盤の整備等総合的に子育てを支援するプロジェクト。

⑫特色ある教育フィールド整備プロジェクト

新市の山資源、海資源を活かした「体験施設」を建設し、新市内外の児童生徒を受け入れ、総合学習、宿泊体験学習、スポーツ合宿等を積極的に行い、「心やさしく、たくましい児童生徒」の育成を図るプロジェクト。

⑬無線LAN導入プロジェクト

今や情報通信基盤は、市民生活を支える重要な都市基盤であるが、新市には離島部などの地理的ハンディを抱えた地域もある。無線LAN導入による高速大容量の情報通信基盤の整備を推進するプロジェクト。

⑭歴史公園建設プロジェクト

歴史と文化の保存継承の一貫として、歴史捕鯨基地公園の建設について検討するプロジェクト。

⑮協働型まちづくり構築プロジェクト

NPOやボランティア団体などの育成、道路や河川の里親制度の導入など、市民との協働のまちづくりの推進を図るプロジェクト。

⑯公共事業推進プロジェクト

公共事業推進委員会の設置により、社会資本の整備や建設事業の推進にあたって、整備計画の優先順位づけや財源などを明確にし、公共事業を効率的・効果的に実施するプロジェクト。

⑰エネルギー循環システム構築プロジェクト

環境への負荷の少ない循環型社会を構築するため、太陽光、風力などの自然エネルギーの導入促進やバイオマスなどの新たなエネルギーの導入に関するエネルギービジョン策定などを実施するプロジェクト。

そして、 未来へ。



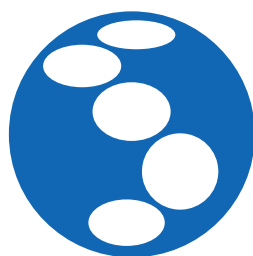
さて、この懐中時計、未来はどんな時間を刻むのでしょうか。

今はまだわかりませんが、

これまでの歴史、知恵と努力、笑顔と融和によって動くのですから、

もしかしたらそれは、現在私たちが望む夢のような世界と

現実とさいかい(再会)する時間なのかもしれません。



2005年 西海市ミニ市勢要覧

発行：長崎県西海市
発行日：平成17年9月
編集：西海市役所
制作・印刷：(株)インテックス